令和３年度まちづくり懇話会
日時：令和３年10月６日18：30～20：00
場所：江差町役場　保健センター

令和３年１１月２５日時点

分野：教育団体

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
1	教育団体関係者	【学校行事について】 昨年学習発表会中止。工夫してもできなかった合唱、劇もできるよう来年に向け取り組みたい。		各学校においては、学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアルなどに基づき、日々、感染予防の徹底と学習の保障に取組みを進めておりますが、道内及び地域の感染状況等を踏まえながら、可能な範囲でコロナ禍前の学校生活に近付けることが必要と考えております。	教育委員会（学校教育課）
2	教育団体関係者	【マスク着用について】 学校にも話したが、マスクを外す日常が来るのでは。1・2年生が口元を見せる恥ずかしさのケアをどうするかという議論。抵抗感がある。手引きをしてあげた方がスムーズにできるのでは。町の手引きがあればやりやすいのでは。	マスクを外す時期、今からでも考えていかなければならないと思っている。外す時期は、先が見えない中で皆さんと意見交換しながら、時期について教育委員会、学校側で考えていただくようにお願いしていく。	江差町校長会議で話題提供しました。今後の感染状況等を踏まえなが検討してまいります。	教育委員会（学校教育課）
3	教育団体関係者	【学校行事について】 今年はなんとか学習発表会が開催出来て安心している。今いる在校生だけでも楽しいイベントができればと思っています。	町もコロナ禍で楽しめるイベントとして、かもめ島を活用した催しができないかなど検討してきたが、町民、子供の皆さんにいきわたっていない。コロナ禍でもできるものがないか検討していきたい。皆さんからこんな事したら良いかというものがあれば教えていただけきたい。	№２対応状況と同じ	教育委員会（学校教育課）
4	教育団体関係者	【学校生活について】 小学3年生から通常の授業を経験している。1年生は経験が無い。日常が戻ったときにギャップがあり、上手く差をケアできれば。	ワクチン接種、マスクなどのケアについて、学校の中でいじめにつながらないかそういう配慮しなければならない。教育委員会や学校が統一した対応をすることが大事。	№２対応状況と同じ	教育委員会（学校教育課）

令和３年度まちづくり懇話会
日時：令和３年10月６日18：30～20：00
場所：江差町役場　保健センター

令和３年１１月２５日時点

分野：教育団体

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
5	教育団体関係者	【学校行事について】 江差小学校と同様に学習発表会を午前中に開催で世帯数が少ないので、家族2名制限で見学可能。			教育委員会（学校教育課）
6	教育団体関係者	【感染予防対策について】 換気対策で窓を開けて、ストーブの設置はあるが、あまりお金がかからないように温度を下げると聞いた。要望が来る前に町から対応した方が良いのでは。	冬の厳しい時期、子供たちが少しでも良い環境で授業を受けさせてあげられることが大事。学校側がどういう対応をしているのか、しっかり把握した中で、子供たちが授業を受けやすい環境を作ってもらえるよう目配せしていきたい。	江差町校長会議で柔軟に対応するよう指示をしております。	教育委員会（学校教育課）
7	教育団体関係者	【地域芸能、文化について】 事前意見回答№3、町として渡御祭に協力する姿勢があるということか。そういう認識でよかったか。	太鼓、笛の継承を考えたときに各関係者の皆さんが受け継いで行ける体制を町としても実行委員会や観光協会と一緒に考えていきたい。町の関わり方でいえば、職員には休んで参加してと言っている。役場職員も一緒に盛り上げていくことが大事だと思っている。		教育委員会（社会教育課） 追分観光課
8	教育団体関係者	【学校と保護者とのつながりについて】 コロナ禍で保護者が学校に行く機会が少ない。先生の顔と名前が憶えられていない。	先生と保護者、生徒、児童の信頼関係にもつながるコミュニケーションのあり方やどう改善していったら、ご意見があればお知らせ願いたい。	№２対応状況と同じ	教育委員会（学校教育課）
9	教育団体関係者	【感染予防対策について】 学校は古くはないけど、暖房の能力が暖まりにくい。改善できたらなと思いはある。	№６回答内容と同じ	№６対応状況と同じ	教育委員会（学校教育課）

令和３年度まちづくり懇話会
日時：令和３年10月６日18：30～20：00
場所：江差町役場　保健センター

令和３年１１月２５日時点

分野：教育団体

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
10	教育団体関係者	【学習環境について】 コロナウイルスの変異型や第6波が来たら、登校できない期間はタブレット端末で対応。引き続き手立てをしていただければありがたい。		各学校では、タブレットの持ち帰りを想定した取組を行っておりますが、学年や家庭の通信環境等から全てをオンライン授業とすることは、現時点で困難と考えており、一部を分散登校で対応することも想定しています。	教育委員会（学校教育課）
11	教育団体関係者	【新型ワクチン接種に伴う学校生活について】 中学生は大方、ワクチン接種が終わったが、接種しない選択をしている人もいる。学校生活において、行動制限をする場合の配慮も考えていかないとならないと思います。	No.４回答内容と同じ	No.２対応状況と同じ	教育委員会（学校教育課）
12	教育団体関係者	【学校と保護者とのつながりについて】 先生と親のつながり、子供も含めて3者のつながりもなくなった。校長、教頭は２年で転勤で知らない。コロナの2年間でつながりが薄くなった。	No.８回答内容と同じ	No.２対応状況と同じ	教育委員会（学校教育課）

令和３年度まちづくり懇話会
日時：令和３年10月６日18：30～20：00
場所：江差町役場　保健センター

令和３年１１月２５日時点

分野：教育団体

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
13	教育団体関係者	【子供たちのケアについて】 コロナ禍前はわいわいしていたが、今はストレスがたまっている。町の方でもケア施策があればいいのでは。	№３回答内容と同じ	不安やストレスを抱えていると思われる児童生徒に関しては、日頃から教職員全体で情報共有を図っているほか、個別の教育相談や家庭訪問、電話等により対応しています。	教育委員会（学校教育課）
14	教育団体関係者	【地域芸能、文化について】 水堀地区は中学生が小学生へ太鼓を教えている。今は中学生で笛を吹ける人がいない状況。	祭り伝承、姥神・水堀・田沢・尾山・郷土芸能、鹿子舞・沖上げ音頭だったり、いろんな場面で子供たちが活躍することがある。しっかり伝承することが、町の発展にもつながっていく。笛、太鼓含めて伝承する体制を作っていかなくてはならない。地域のつながり、世代間交流などを考えた中で、まつりに接することができる機会を与えられるような仕掛けを検討していきたい。		教育委員会（社会教育課） 追分観光課
15	教育団体関係者	【幼稚園行事について】 文化会館大ホールで学習発表会を実施。 夏祭りを保護者で協力して実施。コロナ禍でできないことが多い中で、できることがあると思った。			
16	教育団体関係者	【マスクの着用について】 保育園児はマスク着用していない。職員はしている。言葉で伝える難しいので、顔の表情とかでコミュニケーションを取ったり、大人の表現をどういうふうに伝えられるかいつも話をしている。町としての時期があれば基準の目途にできるのかなと思う。	№２回答内容と同じ		町民福祉課

令和３年度まちづくり懇話会
日時：令和３年10月６日18：30～20：00
場所：江差町役場　保健センター

令和３年１１月２５日時点

分野：教育団体

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
17	教育団体関係者	【保護者間のつながりについて】 学校行事が無いと他の保護者と会う機会が少なくなってしまい、転勤族の方と出会う場面もなく、コミュニティが狭くなっている。 行事は万が一を考えれば積極的にできない。町が先陣を切って何かイベントをしてほしい。	行政として、町のイベントなのか、飲食なのか方針、手段を検討して、それぞれの判断の目安となるような指針を何らかの形で発信できるように準備をしていきます。	№２対応状況と同じ	教育委員会（学校教育課）
18	教育団体関係者	【イベントについて】 北の江の島・グランピング・飲食関係で連動できないか考えていた。貸し出しテントを小学生に貸し出し、島上ステージで何かできないか。うまくできないものか。	マリンピングは日本財団の事業。目的は海洋教育が中心。地元の子供たちが海に親しむ機会を作っていきたい。子供たち全員にはいきわたらないが体験を企画している。希望する子供たちにいきわたる仕掛けをしていきたい。		
19	教育団体関係者	【イベントについて】 マリンピング泊まった。参加してみて夕陽とか感動した。シーカヤック、サップなど眠っているものをうまく使って、町内、町外の人、密にならないイベントをできないのか。	人的体制を整えれば。来年度は体験ができるような環境を準備を進めている。		
20	教育団体関係者	【学習環境について】 冬場の暖房の設置は、火力が強い暖房器具を設置された。ただ、窓を開けてストーブは暖かいとは言えない。事前にしっかり厚着させる。 タブレットについて、子供、先生、タブレットの３つを融合させて、授業をやったり、コロナ禍で発見できた魅力。うまく活用できればと思う。		前段は№６対応状況と同じ タブレットについては、日常的な活用を通じ、授業効果を高める様、取組を進めております。	教育委員会（学校教育課）

令和３年度まちづくり懇話会
日時：令和３年10月６日18：30～20：00
場所：江差町役場　保健センター

令和３年１１月２５日時点

分野：教育団体

No	発言者	意見内容	意見に対する当日回答内容	まちづくり懇話会後の対応状況	担当課
21	教育団体関係者	【コロナ禍でできること】 コロナ禍で生まれた子供たちは、今の環境が当たり前で生活している。コロナ禍でもできることを工夫しながら与えていくことで、経験として積み重なっていくんだなと思いました。コロナになってから先生たちとの打合せ、意見交換する時間が増えた。			
22	教育団体関係者	【イベントについて】 子供たちのイベント考えても、どうしても密になる。サケつかみ取りとか、餅まきなど。子供たちだけだといいけど、大人がどうしても密になってしまうのでは。	屋外であれば工夫してできる行事はある。普段の年であればできていることが楽しみでできない状況が続いている。皆さんの意見をもらいながらやっていきたい。		
23	教育団体関係者	【イベントについて】 緊急事態解除になって、今後どのくらいのレベルで行事を戻していくのか。やらないで先延ばしせずに、踏ん切りをつけてやっていくことを示してもらえれば活発化していくのではないか。	行事をどこまでできるのか、どう判断するのか、国や北海道の方針でできること、やれる方法を模索していく。		